

平成30年度実績に係る部局評価書

部局名: 生物工学国際交流センター

| 【評価区分1】 部局評価計画に対する 達成状況評価 | 【評価区分2】 「全学的に重視する指標」 に係る実績評価 | 【総合評価】 評価区分1及び 評価区分2に係る評定 |
|---------------------------------|------------------------------------|---------------------------------|
| A | A | A |

【評価区分1: 部局年度計画に係る自己評価に対する項目別評価】

| 項目 | 評定 | コメント(評定に至った主な理由) |
|----------|----|---|
| 【教育】 | A | 平成30年度計画の達成状況が良好である。 |
| 【研究】 | A | 平成30年度計画の達成状況が良好である。 カリフォルニア大学デービス校との共同研究を行うとともに、他部局(工学研究科、薬学研究科など)とのネットワークを形成するなど、国際的な研究環境の整備等に努めていることが認められる。 |
| 【社会貢献】 | A | 平成30年度計画の達成状況が良好である。 |
| 【グローバル化】 | S | 平成30年度計画の達成状況が優れている。 本学大学院生(27名)を海外大学(ASEANキャンパス含む)の大学に派遣するプログラムを運営し、留学生や若手研究者を積極的に多数受け入れ、ASEANキャンパスプロジェクトの運用や、ナレッジパートナープロジェクトに貢献したことが評価できる。 |
| 【業務運営】 | A | 平成30年度計画の達成状況が良好である。 |

【評価区分2: 「全学的に重視する指標」に係る実績評価】

| |
|---|
| <p>【評価コメント】 クロス・アポイントメント実施件数について、積極的な制度活用により、実績を大きく伸ばしていることが評価できる。 また、常勤教員公募に占める国際公募の割合について、100%を達成していることが評価できる。</p> |
|---|